

垂水市

水之上地区公民館

～住民の力を合わせた活動で、住みよい地域を目指す～

団体の紹介・活動の目的

水之上地区公民館では、「三和づくり計画」に基づき、個人・団体が連携して、水之上ならではのまちづくりを推進しています。(世帯数839世帯、人口1,747人(平成26年10月31日現在。))

平成23年度に市の総合計画に基づく地域振興計画「三和づくり計画」の策定に取り組みました。現在は、同計画に基づく行動計画を推進し、食をテーマにしたイベント「水之上生活笑楽校(しょうがっこう)」による交流促進や、「菜の花ロード」などフラワーロードの整備も進めています。また、これまで取り組んできた地域行事を住民間で議論を尽くして見直すなど、より住みよい水之上を目指して活動を続けています。

活動の内容

本城川の草払いとボランティアで継続したり、伝統行事「おんだんこら祭り」を関係機関と協力して開催する一方、新たな観光スポットとなっている垂水千本イチョウを園主と地区内の組織・団体が一体となって手入れを行うなど、地域特性や社会資源を活かした地域振興を図っています。

また、平成25年度には過疎集落等自立再生対策事業(総務省)を導入し、「三和づくり計画」に基づくフラワーロードの拡大や公民館駐車場舗装による住民の安全確保、観光・防災マップの作成等を行い、地区の思いがひとつずつ実現しています。



三和づくり計画策定委員会(平成23年9月)の様子。委員会の話し合いは12回に及び、作り上げた計画を現在実行に移し、成果をあげています。



年に1回水之上生活笑楽校(一品持ち寄り形式の食事会)を開催。県外参加者もあり、家庭料理等を楽しみながら水之上の将来や希望、課題などを語り合います。



人気の観光スポット「垂水千本イチョウ」は水之上地区にあります。約4.5haの広大な園地を地域ぐるみで手入れをする取組がスタートしました。三和づくりへ着実に広がっています。



昨年の状況(平成26年3月11日)

菜の花ロードの取組。館内に事務局をもつ三和営農組合が中心となり、普通期水稻収穫後の田や市道沿い約2.4haに菜の花を植栽し、菜種油を収穫します。2月中旬には見頃を迎えます。